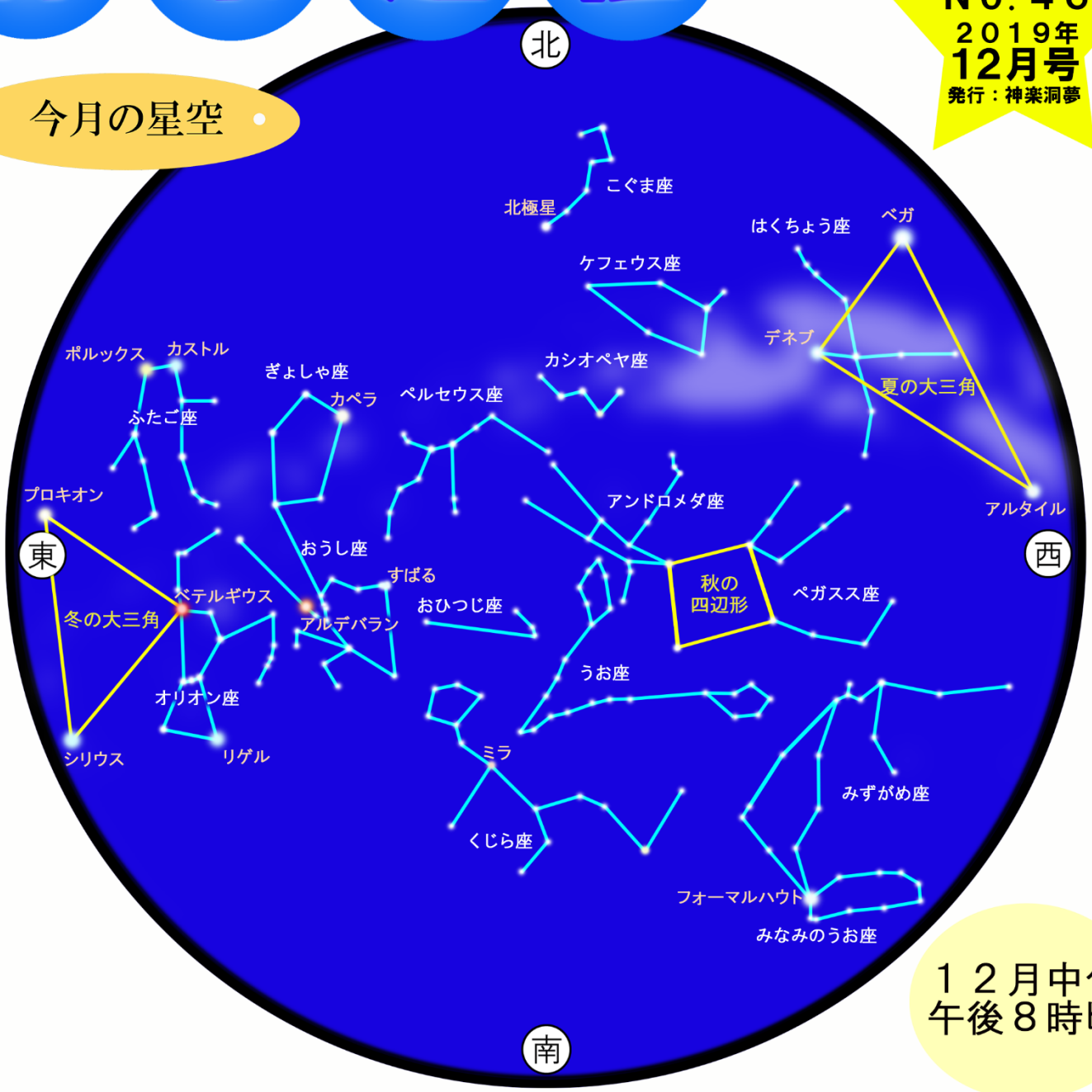
神楽通信

No.46
2019年
12月号
発行：神楽洞夢

今月の星空



１２月中旬
午後８時頃

ペガスス座などの秋の星座たちは西へと傾き、冬の星ぼしが昇ってきました。なかでもオリオン座の整った形と、紅白の１等星ベテルギウスとリゲルが一際目をひきます。その周りにはオレンジ色のアルデバランや黄色いカペラといった色とりどりの星ぼしが、イルミネーションに負けじと冬の空を華やかに彩ります。

１２月２６日　日本全国で部分日食

２６日に日本全国で部分日食が起こります。部分日食とは月が太陽の前を横切ることで、太陽の一部が隠される現象です。津市では右の図１のように太陽が欠けていきます。

太陽の光は大変強いため、短い時間でも目で直接見るのは危険です。太陽を見るときは必ず日食グラス（図２）を使用してください。日食グラスを使用していても、長時間太陽を見続けると目を傷めてしまいます。こまめに休憩をしながら楽しみましょう。

日食グラスが手元に無い場合は、以下のような楽しみ方もあります。

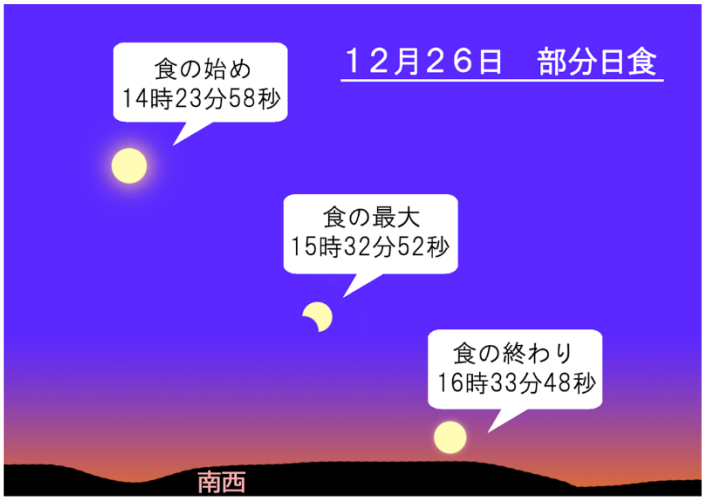


図１．三重県津市での部分日食の様子。

図２．日食グラス（提供：国立天文台）

①ピンホールを作って観察する（図３）

光を通さない紙や、発泡スチロールなどのトレーに小さな穴をあけます。するとピンホールを通過した光が、欠けた太陽の形になります。紙を動かしてうまく影ができるよう調節してみてください。

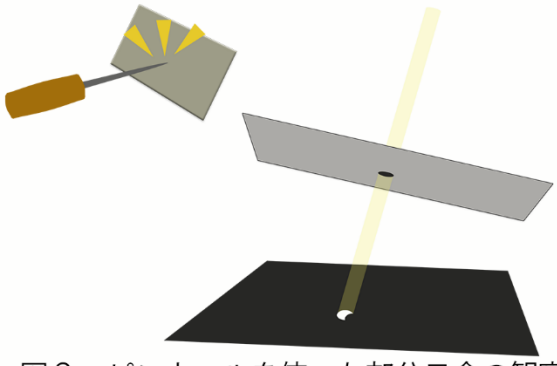


図３．ピンホールを使った部分日食の観察

②木漏れ日を観察する（図４）

ピンホールと同じように、葉の間を通った光が欠けた太陽の形になります。

図４．木漏れ日を使った部分日食の観察

今年は年明け早々に部分日食がありましたが、国内で年に二度も日食が見られるのは１０年ぶりのことです。今年を締めくくる天文現象を安全にお楽しみください。

Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME　〒514-0032　三重県津市中央 5-20
http://kagura-dome.jp　TEL. 059-221-3121　FAX. 059-226-1565